

アフリカ農村における開発と生業変容に関する開発人類学的研究

—ガーナ北東部のバスケット・セクターを事例として—

平成 21 年度入学

参加したフィールドスクール：タイ・フィールドスクール

調査地：ガーナ共和国

牛久 晴香

キーワード：農村開発，貧困削減，フェア・トレード，バスケット（カゴ），生業多様性，社会的企業（Social Enterprise）

自分の研究テーマについて

筆者の調査村が位置するガーナ共和国アッパーイースト州は古くから手工芸品の生産地として栄えた。筆者の調査村周辺地域で 19 世紀後半から続くと言われるカゴ編みは、今でも人々の最も重要な生計活動の一つである。

同地のバスケット・セクターは近年大きな変化を迎えている。国際企業の参入，さらに近年の開発パラダイムの変化を受けた多数のカゴ編み支援プロジェクトにより，アクター，デザイン，流通経路，取引価格など様々な面で変化が起こった。加えて現在では「フェア・トレード」や「社会的企業」などの流行と相まって，「貧困のブランド化」が進み，カゴが従来と比較にならぬほどの高値で取引されている。

一方，村人個々人の生計活動も変化した。出稼ぎの減少，乾季灌漑作離れ，仲買業の開始など，カゴ編みによる収入変化にとどまらず，村人が従来行ってきた他の生計活動も組み替えられつつある。

そこで本研究では，バスケット・セクターにおけるマクロ状況の変化，およびそれによる村人の生計活動の変化の過程を人類学的に明らかにすることを目的とする。その際，アフリカ農村の生計活動の多様性を考慮し，カゴ編み以外の生計活動の変化にも注目する。その上で，村人が自分たちの持つ経済資源に応じて，柔軟にマクロ経済の変化に対応していることを示し，これまでの「過保護な開発援助」の在り方に疑問を呈する。また，近年注目される社会的企業の役割を再考することも意図している。

フィールドスクールから得られた知見について

タイ・フィールドスクール（以下 TFSC）は，特定非営利活動法人「Link～森と水と人をつなぐ会～」によるスタディーツアーが主であった。以前も NGO のスタディーツアーに参加したり，自分の調査地で会った援助団体の対応などを見たりして私が抱いていた印象は，援助団体は現地の生活や人々への関心はあまり持っていないのではというものだった。しかし，代表の木村茂氏，スタッフの富田千草氏と実際に行動を共にする中で，彼らの圧倒的な知識量の多さ，きれいごとではなく，村人とともに森を守ろうとする真摯な姿勢がひしひしと伝わってきた。Link のような団体と出会い，「援助団体」が決して一枚岩ではないことを再認識した。

また，TFSC は「よそ者」の役割について再考するきっかけとなった。タイは政府が比較的しっかり

しており、経済的にはすでに中所得国入りしたと言われ、二国間援助をはじめ、多くの援助団体が撤退しつつあると聞いた。しかし国家の力が強いからこそ、国家開発のために犠牲になる地域が生まれることもある。そのような地域の力になれるのがいわゆる第三セクターなのだろう。報告者は従来 NGO の役割について懐疑的であったが、TFSC を通し、とくにタイの文脈においては「よそ者」でなければできない役割があることに気付いた。地域研究者のような、地域をよく知るよそ者の開発における役割を考えるきっかけを TFSC は与えてくれたと思う。

フィールドスクールで学んだことがどのように研究テーマにいかせるか？

博士予備論文では、カゴセクターの変化に大きな影響を与えた援助団体、フェア・トレード団体、社会的企業についても記述しようと考えている。人類学的研究は、村人個人に焦点を当てる半面、外部開発団体をひとまとめに語ってしまうきらいがある。今回 TFSC で感じた開発団体の多様性に注意し、彼らを一枚岩的に描くのではなく、その活動に敬意を払いつつ、彼らの顔が見えるような豊かな描写を試みたい。

また、まとめでは社会的企業もとい第三セクターの役割について考察する予定である。今回の TFSC で、開発団体の国家開発への関与の仕方を含めたマクロな政治経済状況が、NGO の活動および果たすべき役割にも違いを与えていると強く認識するようになった。外部開発団体が調査村で行っている活動を、ガーナを取り巻く政治経済状況の中で捉えなおす作業を通じて、第三セクターに対し建設的な提言ができるような論文にすることを目指したい。

写真 1 (右) : 老若男女集まり、大きな木の下でおしゃべりをしながらカゴを編む。



写真 2 (左) : ピトーと呼ばれるローカル酒を醸造するためのカゴ、ゲンカ。ギニアコーンの茎を割いたものでできており、素材は異なるが、今のカゴの編み方の原型である。



写真 3(左):3 日に一度州都で開かれるマーケットに合わせて、
村の入り口でローカルバイヤーによる買い付けが行われる。ロ
バ車いっぱい積まれるカゴ。